



本市は、三方を海に開かれた本州最西端に位置し、古くから海上・陸上交通の要衝の地、経済・文化交流の結節点として栄え、市内には関門海峡をはじめとする豊かな自然や貴重な歴史的・文化的遺産が数多く残されているだけでなく、山口県下最大の都市として、良好な都市景観の形成にも取り組んでまいりました。

このような中、平成17年2月の旧下関市と旧豊浦郡4町（菊川町、豊田町、豊浦町、豊北町）との合併により、歴史ある都市美だけでなく、長く美しい山陰海岸、緑豊かな山並みなど、より魅力的な景観と自然環境に恵まれたまちとなりました。

美しい景観は市民のかけがえのない財産であり、その財産を守り、創っていくことは、本市まちづくりの重要なテーマです。

そこで、新市としての一体的、総合的な景観施策を展開するための基本的な方針である「下関市景観基本計画」を策定いたしました。

景観は、景色と人々の様々な関係によって形成されるため、景観形成の取り組みは、まちづくりの一環として進めることが大切です。したがって本計画では、景観形成の取り組み全体を「景観まちづくり」と呼び、この「景観まちづくり」を、市民・事業者・行政の協働によって持続的に進めていくことを目標としております。

私は、今後とも景観施策を推進し、市の目指すべき将来像である「自然と歴史と人が織り成す交流都市」実現に積極的に取り組んでまいります。市民並びに事業者の皆様におかれましても、何卒、今後とも本計画の推進にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、策定にあたり、下関市都市景観審議会委員をはじめ多くの方々にご審議いただきましたことに、心から感謝申し上げます。

平成20年10月
下関市長 江島 潔